

平成28年産水稻の生育状況と今後の対策 (水稻生育診断技術確立調査-9号)

農林総合研究センター
平成28年7月28日調査

気象経過

- 7月中旬の平均気温は、平年に比べ金沢、輪島ともに並（金沢：+0.3℃、輪島：+0.5℃）となった。日照時間は、平年に比べ金沢は多く、輪島は並（金沢：132%、輪島：115%）、降水量は平年に比べ金沢、輪島ともに少なく（金沢：55%、輪島：49%）なった。
- 7月第5半旬の平均気温は、平年に比べ金沢は並、輪島は低く（金沢：-0.2℃、輪島：-0.8℃）なった。日照時間は平年に比べ金沢、輪島ともに並（金沢：112%、輪島：99%）、降水量は、平年に比べ金沢、輪島ともかなり少なく（金沢：0%、輪島：3%）なった。
- 7月22日に平年より2日早く梅雨明けが発表された。
- 7月28日に新潟地方気象台から発表された、向こう1か月の予報では、平年と同様に晴れの日が多いでしょう。向こう1か月の平均気温は、高い確率50%です。

生育概況等

【本田の生育】

1. 出穂期

- コシヒカリの出穂期は、加賀地域では7月22日頃から出穂が始まり、盛期は7月26日頃と平年に比べ3～4日程度早まっている。
- 能登地域では、出穂が始まっており、盛期は7月28～29日頃と平年に比べ4～7日程度早まると予想される。

【出穂期】

コシヒカリ 加賀： 7月22日～28日（平年より3～4日程度早い）
能登： 7月27日～31日（平年より4～7日程度早い）

2. m²あたり茎数

コシヒカリは403本/m²、平年比103%（加賀地域105%、能登地域98%）と並になっており、既に出穂期を迎えている圃場が多いことから、穂数は平年並に確保される見込みである。

7月28日

m²あたり茎数(平年、前年)及び株当たり茎数

コシヒカリ	県平均	403本	(平年比 103%	前年比 98%)	21.5本/株
	加賀	411本	(平年比 105% <td>前年比 100%)</td> <td>22.5本/株</td>	前年比 100%)	22.5本/株
	能登	390本	(平年比 98% <td>前年比 95%)</td> <td>20.0本/株</td>	前年比 95%)	20.0本/株

3. 草丈

コシヒカリの草丈は平年比106%（加賀地域106%、能登地域106%）とやや長い。

【病害虫の発生状況】

- 斑点米カメムシ類（飛翔性カメムシ類）の本田への侵入量が多い。
- 葉いもちが山間地や葉色の濃い圃場を中心に各地で確認されている。
- 紋枯病の発生が散見される。
- コブノメイガの食害が散見される。

当面の対策

～間断通水の徹底で登熟向上～

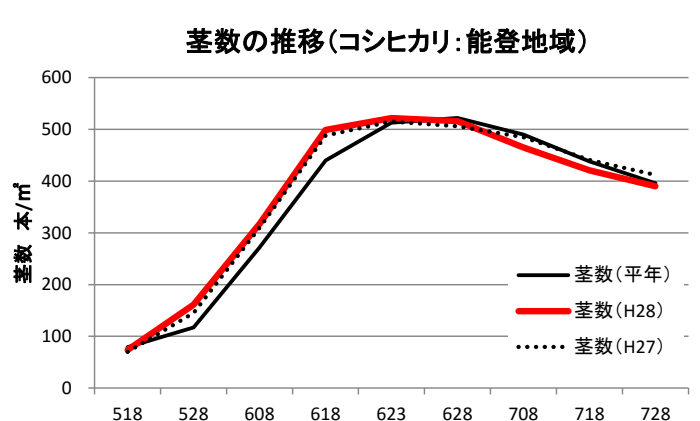
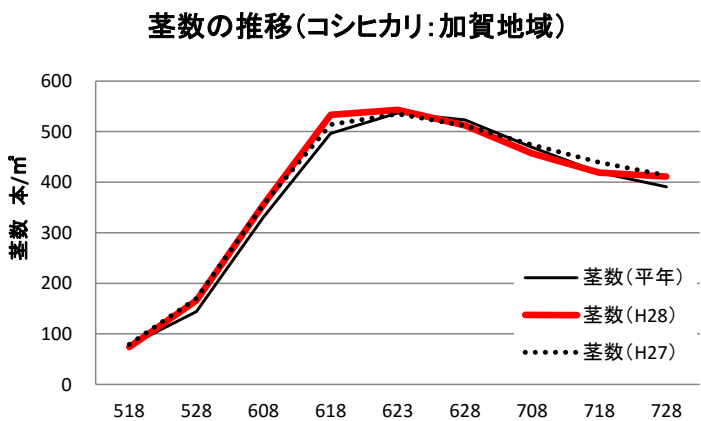
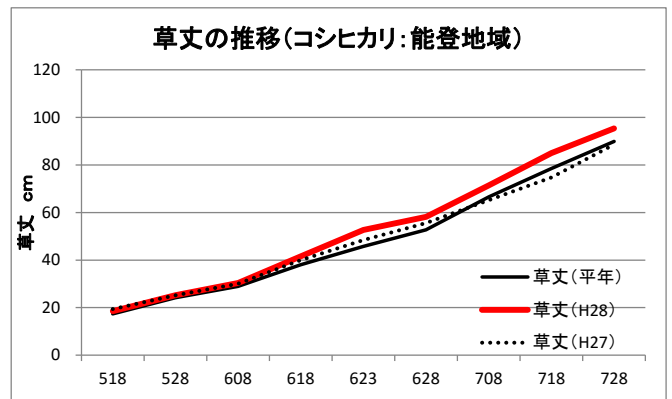
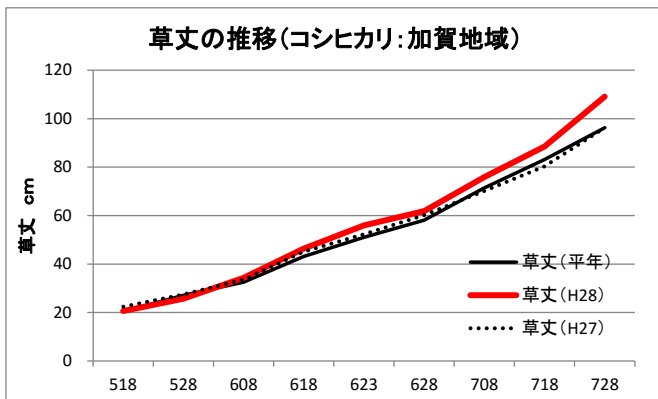
- コシヒカリの出穂期が平年に比べかなり早まり、年間で一番気温の高い時期と重なることから、出穂後は登熟向上を図るため、間断通水（3～4日おきに通水）による飽水管理を刈り取り7日前まで行う。

特に、登熟初中期（出穂後7～21日頃）に平均気温27℃以上の高温と水分不足が

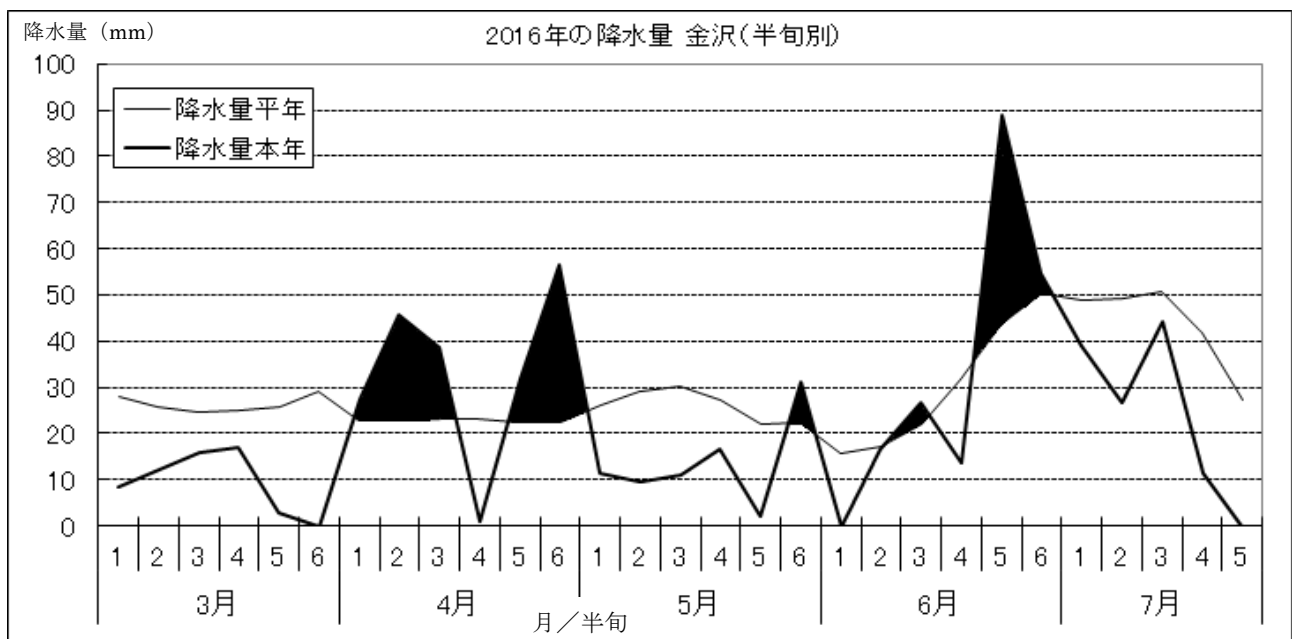
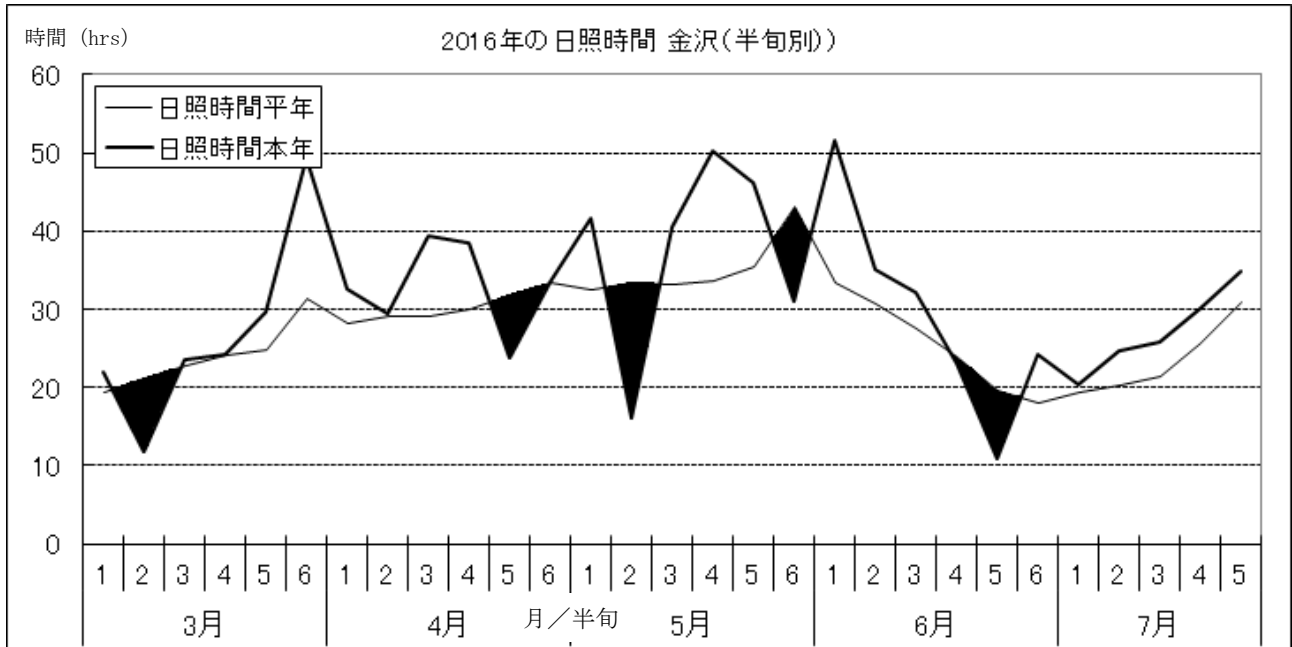
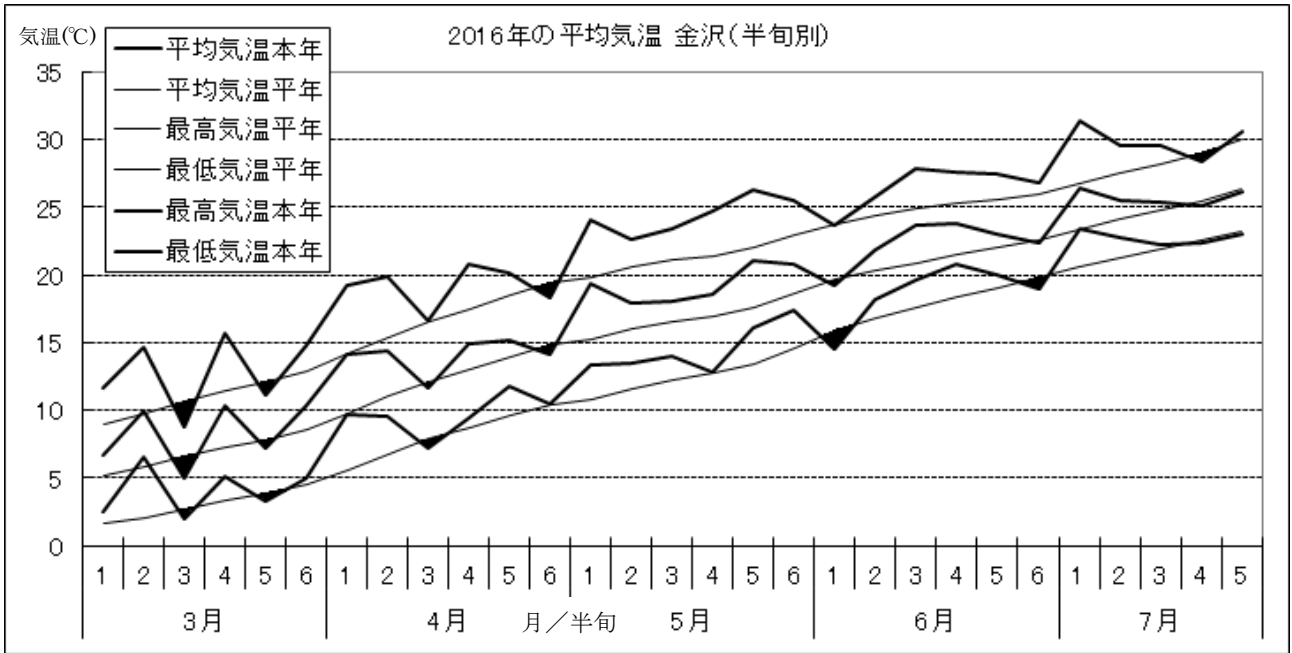
重なると、白未熟粒・胴割粒の発生を助長するので通水を徹底する。

なお、強風やフェーンが予想される場合は、あらかじめ入水し、稲体の活力低下を防止する。

2. 高温時期の長期湛水は、根の機能低下をもたらすので行わない。
3. 用水をため池に依存している地域等では、計画的な水利用に努める。
4. 斑点米カメムシ類の本田への侵入が確認されており、高温・乾燥が続くと本田への侵入がさらに多くなると見込まれるので、斑点米の発生を防止するため防除を徹底する。
防除は、早生や7月中に出穂するコシヒカリでは、出穂7～10日後と14～17日後の2回防除を徹底する。また8月以降に出穂する稲では、出穂7～10日後の防除を徹底する。
なお、防除後もカメムシ類の本田侵入が確認された場合は追加防除を実施する。
5. 今後の畦畔等の除草については、カメムシ類の本田侵入を助長するので原則行わない。但し、やむを得ず除草を行う場合は本田防除の直前に行うこと。
6. 葉いもちの発生が平年に比べ多いことから、穂いもちの発生を防止するため出穂前後の基幹防除を必ず実施する。
7. 出穂期の遅い圃場（晩植、直播等）で、葉いもちの発生が認められた場合には直ちに防除を実施する。
8. コブノメイガについては、今後出穂を迎える直播、晩植ほ場を中心に巡回に努め、被害を認めたら直ちに防除を実施する。
9. 高温登熟年は、籾黄化の進みが早く、胴割粒が発生しやすいので、籾黄化率が80%から収穫を開始し、90%までに終わる。早生品種は登熟積算気温930℃、中生品種は960℃を刈取り開始の目安とする。

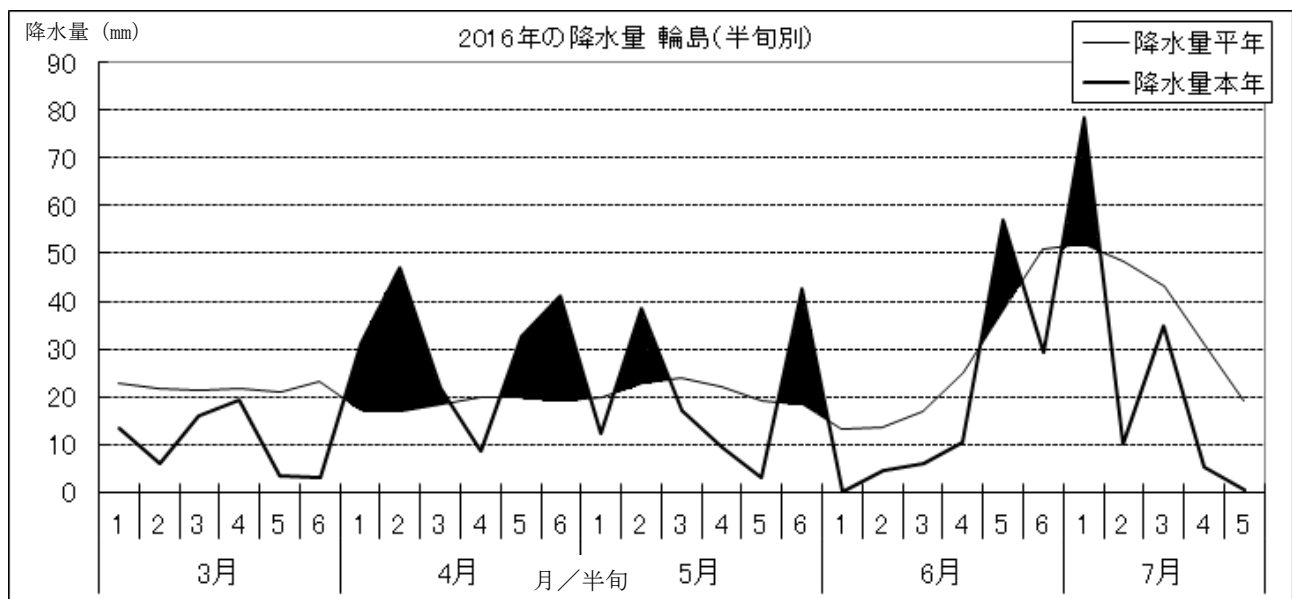
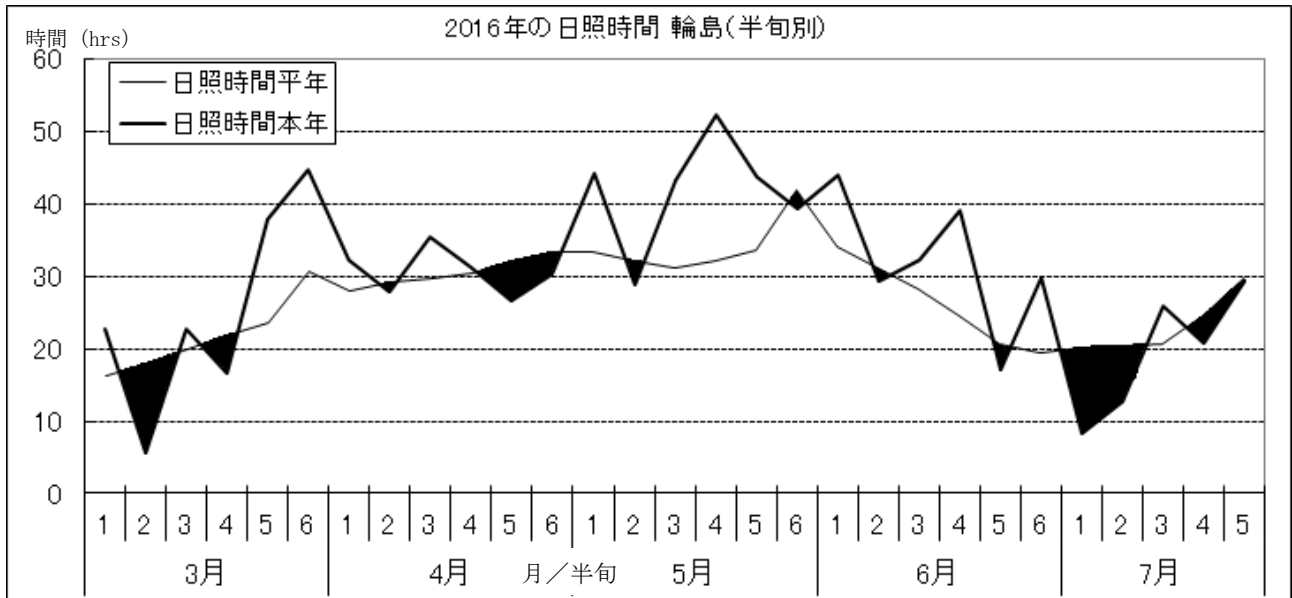
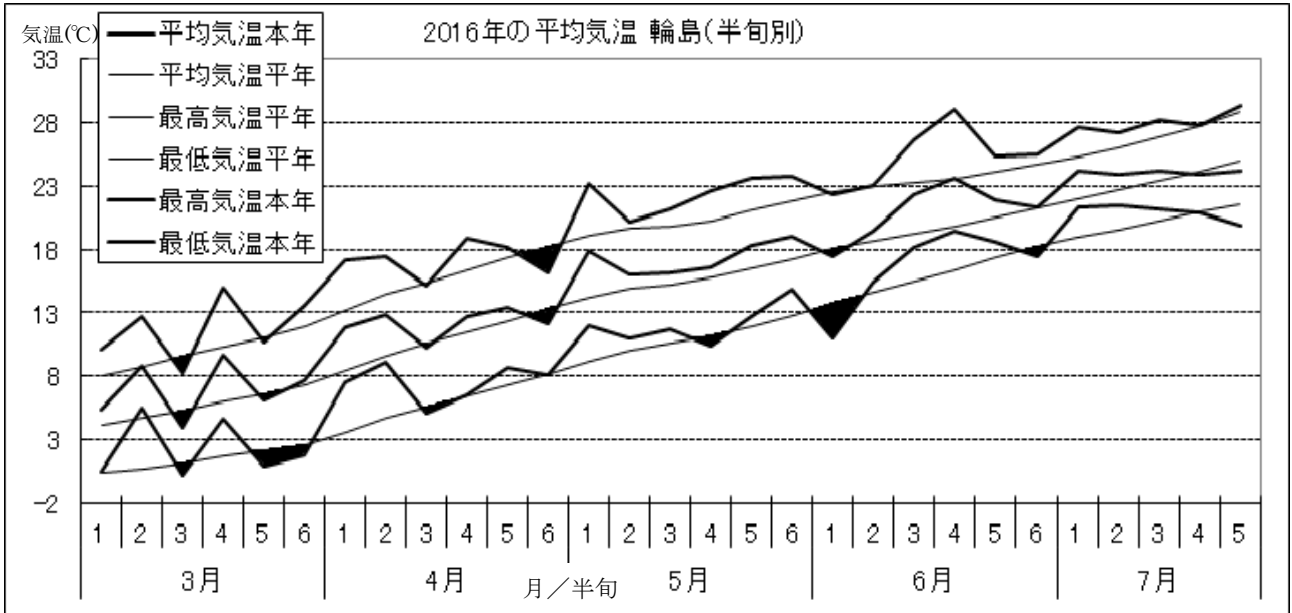


気象経過イメージ (金沢气象台)



※金沢气象台観測データを基に石川県農業試験場が作成
 ※平年値は過去30年間(昭和56年~平成22年)の平均値
 ※降水量・日照時間については、1、3、5、7、8、10、12月の第6半旬は、6日間の合計値となるため、他の半旬より値が大きくなる場合が多い

気象経過イメージ（金沢気象台）



※金沢気象台観測データを基に石川県農業試験場が作成

※平年値は過去30年間（昭和56年～平成22年）の平均値

※降水量・日照時間については、1、3、5、7、8、10、12月の第6半旬は、6日間の合計値となるため、他の半旬より値が大きくなる場合が多い